

平成20年度

第8回「地域科学技術振興研究会」

開催日 : 平成20年 8月27日(水) 13:00~17:30

場 所 : 三重県農業大学校 2階 大教室

主催共催 : 主催 財団法人 全日本地域研究交流協会

共催 三重県 (三重県研究コーディネータ会議・併催)

議 題 : 農商工連携による地域イノベーションの連続的創発への課題

参加者数 : 65名

[プログラム]

13:00

開会挨拶 (財)全日本地域研究交流協会 専務理事 角 地 省 吾

共催挨拶 三重県農水商工部 科学技術政策監 大 泉 賢 吾

研究会の主旨・展開 (財)全日本地域研究交流協会 常務理事 中 崎 正 好



13:30

<セッション 地域イノベーションの創発に向けて>

(1)「京都府農業研究所の位置付と研究開発の展開」

京都府農業総合研究所 企画経営部 部長 稲 葉 幸 司

(2)「農水分野でイノベーションが創発された事例の紹介」

愛媛大学教授 南予水産研究センター センター長 山 内 皓 平

(3)「三重県科学技術振興施策における農水分野の展開」

三重県農水商工部 科学技術政策監 大 泉 賢 吾



15:05

休憩(名刺交換・懇談等) ~

15:30

<セッション 地域特性を活かしたイノベーションの持続>

(4)「英虞湾発イノベーション 自然生態系との共生」

株式会社 あの津技研 代表取締役 加藤 忠 哉

(三重大学名誉教授 元地域結集型共同研究事業 研究統括)

(5)「光触媒反応の農業分野での実用化に向けて」

東京大学先端科学技術研究センター 橋本研究室 特任准教授 砂田 香矢乃



16:30

<セッション 地域イノベーションの発展に向けて>

(6)「地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業の追跡調査について」

(財)全日本地域研究交流協会 事業部次長 遠藤 達 弥

(イノベーションの促進に向けた討論)

討論及びまとめ(モデレーター)九州大学 名誉教授 齋藤 省 吾

全 体 討 論

九州大学 名誉教授 齋藤 省 吾



参加者65名 (出捐道府県・賛助県・財団・産学官機関の関係者等及び事務局)

食糧の安全保障・食の安全性・現在おかれている環境条件等を踏まえて、海外における技術の重点と状況如何、食料(農業)の工業化等、今日の現状と、地域におけるイノベーションの持続と新たな創発より、実りある成果を目指すための展開等について活発な議論が交わされた。